

電気のないミクロネシアの離島において、 島を守る女性たちがものづくりで収益を上げ、 自立を目指すために！

- 実施団体：特定非営利活動法人ザ・ピープル
- 対象国・地域：ミクロネシア連邦・チューク州フォントン島
- 現地カウンターパート
・フォントン島女性団体



- 協力内容：
 - ・ソーラーシステム保守管理人材の育成
 - ・ソーラーシステムを活用した電動ミシン（ソーラーミシン）による縫製品製作の技術者育成
 - ・ソーラーミシンを活用した縫製品のテスト販売

- 団体のこれまでの取り組み：
 - ・地域課題を地域の女性が自ら解決するために生まれたNPO
 - ・古着リサイクルやオーガニック綿事業、災害支援事業など
 - ・タイ北部での教育支援、ラオスでの服飾技術指導

- 事業実施の背景：
 - ・2015年に開催された『太平洋・島サミット』でミクロネシア大使とのつながりが生まれ、その後同国を訪問。
その際、支援物資として提供されたソーラーシステムが、メンテナンス技術の共有不足のため、適切な使用や管理がされず、壊れて使い捨てのように廃棄されるということを目の当たりにし、ソーラーシステムの保守管理技術の提供を決断する。

ミクロネシア連邦の課題と成果

- 課題①** 未電化地域が多数存在するミクロネシアの離島では、諸外国から提供されたソーラーシステムが、住民のメンテナンス知識不足により使い捨てとなっていた。
- 成果①** 現地で調達可能な機材を使用し、メンテナンス可能なソーラーシステムを設置。
- 成果①-2** 現地業務補助員の協力とオンラインツールの活用により、ソーラーシステムの保守管理技術者を育成。
- 課題②** 男性は出稼ぎで島を出ていることが多く、島を守る女性のみでものづくりを行う環境がない。
- 成果②** ソーラーミシンを活用した縫製品制作の技術者を育成。
- 成果②-2** ソーラーミシンを活用して販売可能な縫製品を製作し、売り上げを得る。

事業の波及効果

！ 現地ニーズに即した活動を行った結果、近隣の未電化島の女性チームが、ソーラーシステムの保守管理オンライン講習会に参加！

- ・近隣の未電化の島でも、フォントン島と同様、ソーラーシステムの維持管理の課題を抱えている。フォントン島の近隣にあるパレム島の女性チームがソーラーシステムの保守管理に関するオンライン講習会に参加し、参加者全員で壊れたソーラーシステムの再設置を試みる予定。今後、フォントン島とパレム島の連携により、保守管理技術の定着が期待できる。